

第六十二回全日本中学校長会総会日程

期日 平成二十三年五月十七・十八日
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター



会計監査会
五月十五日(日)
午前九時三十分～正午
(全日中会館)
基金管理運営委員会
同日 午後一時～一時三十分
(全日中会館)
常任理事会
同日 午後一時三十分～五時
(全日中会館)
理事会
五月十六日(月)
午前十時～午後五時
(国立オリンピック記念
青少年総合センター)

総会

第一日 五月十七日(火)

午前九時受付開始

- 一 開 会
- 二 国歌斉唱
- 三 会長あいさつ
- 四 表彰盾贈呈
- 五 祝 辞

文部科学大臣 高木 義明
全国都道府県教育長協議会会長 大原 正行

―東日本大震災の復興のために―全日中の総力で支援を―
第六十二回総会は五月十七日、十八日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて全国からの代議員とオザーバー多数の参加を得て開催された。
開会に先立ち、東日本大震災でお亡くなりになった方々に哀悼の意を表し黙祷を捧げた。
新藤久典会長は、挨拶の中で、被災された皆様の一日も早い復興を願い、被災地で献身的に避難所運営等にあたりつている校長先生をはじめとする教職員に敬意を表した。全日中として全会を挙げて学校の再開や復興のための支援に取り組むことを約束した。また、「全日中教育ビジョン―学校からの教育改革―の具現化の活動を進め、平成二十四年度から全面实施される新学習指導要領による教育課程の編成・実施のための課題を解決するため、組織の全力を挙げて取り組み、具体策の提言を行っていく必要性を述べた。功労者への表彰盾贈呈に続き、文部科学大臣、全国都道府県教育長協議会会長、全日中元会長から祝辞をいただいた。議事に入り、新会長として大江近・東京都渋谷区立上原中学校長を選出し、活動方針等の諸議題と「宣言・決議」を採択した。午後、文部科学省初等中等教育局山中伸一局長から、「当面する初等中等教育上の諸課題」と題した講演をいただいた。総会一日目を終えた。
二日目は、午前中、「文部科学省行政説明」が行われ、学校が取り組むべき緊急の課題を中心に説明があった。午後、拝謁と皇居特別参観が実施された。

元全日中会長

壺内 明

- 六 議長選出
- 七 議 事

- (1) 平成二十二年会務報告
- (2) 平成二十二年会務報告
- (3) 平成二十三年度活動方針
- (4) 平成二十三年度活動方針
- (5) 平成二十三年度予算の件
- (6) 平成二十四年度第六十三回全日本中学校長会研究協議会開催地の件
- (7) 平成二十四年度第六十三回全日本中学校長会研究協議会主題・分科会研究課題の件
- (8) 宣言・決議

- 八 連 絡

- (1) 第六十二回全日本中学校長会埼玉大会について
- (2) その他

- 九 講演

「当面する初等中等教育上の諸課題」
文部科学省初等中等教育局長 山中 伸一先生

第二日 五月十八日(水)

- 十 文部科学省行政説明(初等中等教育局財務課、教育課程課、児童生徒課、特別支援教育課、教職員課、生涯学習政策局、国立教育政策研究所)
- 十一 閉 会

皇居特別参観 午前十一時五十分

宣 言

今日、我が国の教育は人格の完成をめざし、伝統と文化を尊重するとともに、豊かな人間関係で満たされる社会を創るたくましく日本人を育成する使命を担っている。
我々は、新しい時代の中学校教育の課題に対応し、教育基本法をはじめとする関係法規、新学習指導要領等の趣旨を踏まえ、自らの責任において全日中教育ビジョンに基づき学校からの教育改革を推進し、教育の真価を示さなければならない。
全日本中学校長会は、教育改革の推進と当面する諸課題の解決に努め、新たな中学校教育の創造をめざし、国民の信任に応えることを宣言する。

決 議

第六十二回総会にあたり、以下の事項を決議し、その実現を期する。
一、人間尊重の精神に徹し、未来を切り拓く「生きる力」をはぐくむ教育に努める。
一、全日中教育ビジョンを踏まえ、新学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施し、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな体の育成に努める。
一、現在の課題に即した研修を充実し、教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。
一、創意ある教育活動を展開し、家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため、人的措置をはじめ確固とした教育条件の整備・充実に努める。
一、「教科書無償給与制度」、「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し、教育水準の維持向上を期する。

平成二十三年五月十七日

第六十二回 全日本中学校長会総会